



増加するタイ人観光客

北陸銀行

バンコク駐在員事務所

中村 翔平

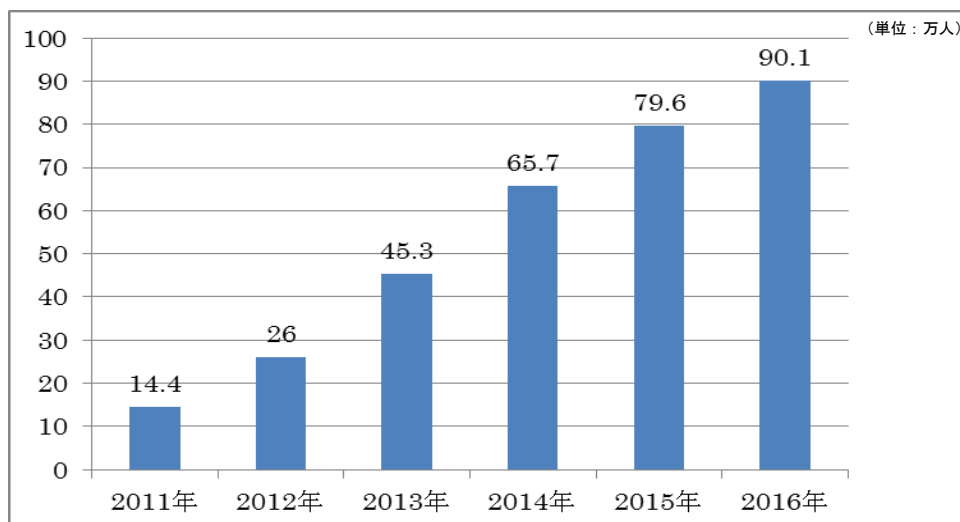
1. タイ人観光客を取り込む

日本を訪れるタイ人が年々増えているという事実をみなさんにご存知でしょうか？私自身、タイで生活するまで全く知りませんでした。一緒に仕事をしているタイ人から話を聞くと、タイの方々には日本に対する憧れが非常に強く、多くのタイ人が日本を訪れているそうです。日本へのタイ人旅行者が増えている理由としては、

- ・雪への憧れ
- ・日本食への憧れ

の2つが大きいようです。タイは一年を通して蒸し暑く、もちろん雪は降りません。また、タイ国内には多くの日本食の飲食店が進出しており、本場の日本食を食べたいというタイ人も多いようです。訪れる先は東京や京都、北海道が多いですが、地方においてもタイ人観光客を取り込むことができれば、地方創生にも繋げることができるのではないかと考えます。

《訪日タイ人の推移》



【出典：日本政府観光局】

2. タイ人観光客を取り込むためのキーワード

では、日本を訪れるタイ人を取り込むためには、具体的にどのような取り組みをすれば良いのでしょうか？キーワードとなるのは、「SNS(ソーシャルネットワークサービス)」です。以下は、携帯電話の加入率およびSNSの利用率について、日本とタイの割合を比較した表です。

	タイ	日本
携帯電話の加入率(2014年)	144.4%	120.2%
LINE利用率(2015年6月)	49.4%	45.7%
Facebook利用率(2015年3月)	48.6%	19.0%

【出展：ITU-ICT Statistics、
LINE株式会社コーポレートビジネスグループ、
(株)セレージャテクノロジープレスリリース】

タイは、ラインやフェイスブックなどのSNSの利用率が非常に高くなっています。私自身、バンコクに半年以上住んでいますが、職場のタイ人はもちろんのこと、タクシーの運転手、デパートの店員、公務員など非常に多くの方がSNSを利用しています。

タイ人旅行者は、あらかじめSNSのホームページから旅行先の情報を入手する人が多いそうです。また、タイの高級飲食店などではフェイスブックのホームページを保有している店が非常に多く、フェイスブックを通じて予約をとるといった話もよく聞きます。

フェイスブックでは、投稿された情報・写真に対して友達が「いいね」ボタンを押すことにより、その投稿がネット上でどんどん拡散されていきます。日本へ旅行したタイ人は必ずといっていいほど旅行写真を投稿します。投稿に対し、「いいね」を押すことにより、タイ国内を中心に情報が拡散し、日本の魅力を知らず知らずのうちにPRしている形となります。

山形県や福島県などの地方自治体は、既にタイ語のフェイスブックホームページを作成し、自治体のPRを行っています。増え続けるタイ人観光客を取り込むためには、「SNS」を利用するのが効果的ではないかと考えます。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp